

第5次 行政改革

に取り組んでいます！

市は、昭和61年度から行政改革をはじめ、さまざまな取り組みを行っています。これまでも民間委託や指定管理者制度の導入、組織・機構の合理化、職員定数の適正化など、市民へのサービスを向上させながら経費を削減してきました。平成23年度に策定した「第5次行政改革実施計画」(平成23年度～25年度)では、「効率的で質の高い行政運営の推進」を基本方針に「①市民サービスの向上」、「②効率的な行政運営」、「③適正な組織管理と職員の意識改革」の3つを目標に掲げて、行政改革に取り組んでいます。平成24年度の行政改革では、21項目の取り組みを行い、その効果額は、約2,404万円でした。今月の焦点では、平成24年度の主な取り組み状況についてお知らせします。

1 公金のコンビニエンスストア収納の検討

市では、市税などの公金の納付について、身近な場所で夜間や休日でも納付が可能なコンビニエンスストア収納サービスの導入を検討しています。平成24年度に、千歳市収納対策検討会議を行い、収納システムの更新や収納管理体制の方針を決定しました。また、平成26年度からサービスの運用を開始するために、平成25年度中にシステム更新・導入に向けた準備を行っています。

2 小・中学校における校務作業の民間委託

事務の効率化を図るため、市は、市内小中学校の学校事務補助や学校施設管理業務などの校務について、平成20年度から段階的に民間委託を導入しています。平成24年度は、北進小中学校、緑小学校、向陽台小学校、泉沢小学校の4校で、校務の一部を民間委託にしています。

3 行政評価システムの活用

事務事業の有効性や効率性などの評価を行い、新たな行政課題を的確に把握するため「行政評価システム」を活用し、事務事業の改善に取り組みしました。平成24年度は、292事業・136施策の評価を行いました。また、事業開始前に評価を行う事前評価については、124事業の評価を行いました。さらに、市民による外部評価として、「市民行政アセス」を実施しており、7施策の評価を行いました。



市民評価会議の様子

4 広告事業の活用

市民サービスの向上と地域経済の活性化を図ることを目的に、市の資産を広告媒体として民間企業などの広告を掲載する「広告事業」を導入しています。平成24年度は、市民カレンダー広告や公用車両広告、ホームページバナー広告、市指定ごみ袋用外袋広告、広告を活用した交付番号窓口表示などの広告事業を行いました。この広告事業における効果額は、319万4,000円でした。

6 中学校外国人英語指導助手の第1種非常勤職員化

市は、中学校の英語授業時の指導助手として、(財)自治体国際化協会から外国人を受け入れています。より外国語教育に適した人材を確保できるよう、増員も検討しながら、現在は、第1種非常勤職員として、直接雇用を進めています。平成24年度は、英語指導助手2人のうち1人を第1種非常勤職員化し、直接雇用に切り替えました。



英語授業の様子(向陽台中)

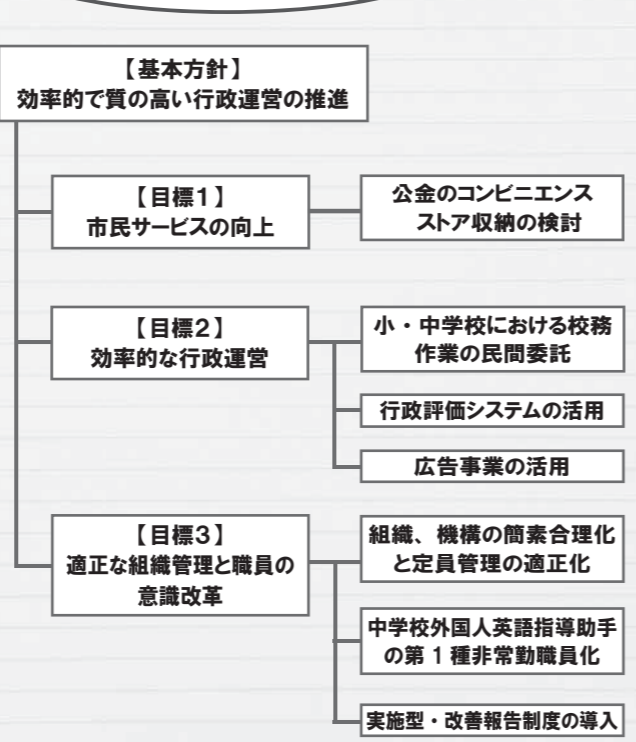
5 組織、機構の簡素合理化と定員管理の適正化

行政課題や市民ニーズに効率的に対応できるよう、組織の見直しと定員管理の適正化に取り組んでいます。行政課題や市民ニーズの把握に努め、スクラップアンドビルドを徹底し、事務事業を適正に執行できる、必要最小限の職員配置に取り組んでいます。平成25年4月1日現在、92課193係で組織しており、職員数(病院医療職員を除く)は、743人となっています。

7 実施型・改善報告制度の導入

職員が実際に行い、自分の業務を効率的に進めることができた「ちよつとした工夫」を公表し、これをほかの職員が実践することで全庁的な業務改善につながるように「実施型・改善報告制度」を導入しています。平成24年度の改善報告は、111件でした。

第5次行政改革の実施計画体系図



※取り組み内容の一部です。

- 今回は、第5次行政改革の平成24年度に実施した主な取り組み状況についてお知らせしました。
- 第5次行政改革の内容は、市のホームページ「まちづくり」-「政策・計画」からご覧になれます。

記事の詳細
総務部行政管理課
行政経営係
☎(24) 0512